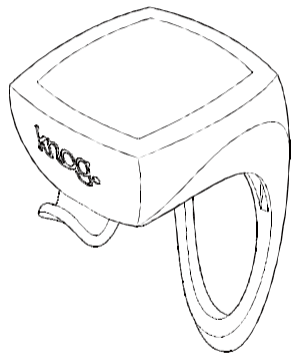


日本語

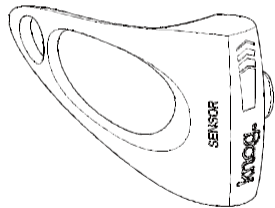
# 内容

しくみ .....	25	バッテリーの交換 .....	40
メインユニットのセットアップ .....	26	N. E. R. Dのスペック .....	42
機能 .....	32	ケアとメンテナンスについて .....	44
ボタンの機能と基本的な操作 .....	34	保証について .....	44
バイクへの取り付け .....	37		

# N.E.R.Dのしくみ



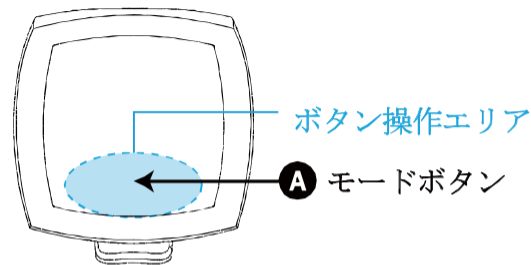
ワイヤレスサイクルコンピューター



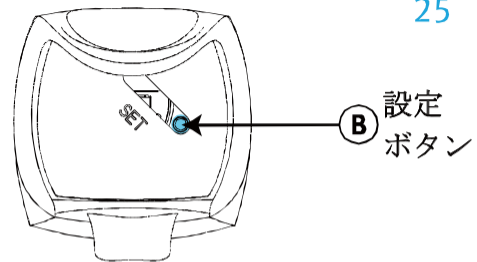
トランスミッター



マグネット



ワイヤレスN.E.R.Dは図のように、液晶を押しながらか操作できるモードボタンがあります。モードボタンはコンピューターの最も基本的な操作に使用します。このマニュアルでは、モードボタンを**A**と表記します。



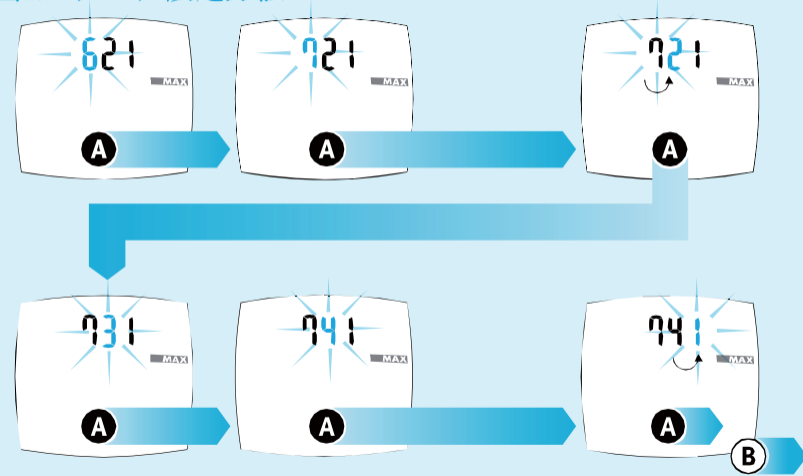
セットボタンは図のようにコンピューターの裏側にあります。ペンやとがったもので押しながらか操作します。セットボタンはセットアップ操作時のみ使用します。このマニュアルでは、セットボタンを**B**と表記します。

# メインユニットのセットアップ

## データ設定方法 (図1.1)

1. 入力中はそれぞれ数字を合わせていくことができます。入力中の数字は点滅表示されます。
2. **A**を押すと数字が1増えます。
3. **A**を2秒間押すと次の数字の入力に移動します。
4. **B**を押して表示されている数字を保存して、次のセッティングに移ります。
5. すべてのデータを入力し終わったら、**B**を2秒間押してデータセッティングモードを完了します。もしも途中で設定を抜きたい場合は、いつでもこの操作をすれば終了できます。この時設定されていないデータは0のまま保存されます。

図1.1 データ設定方法



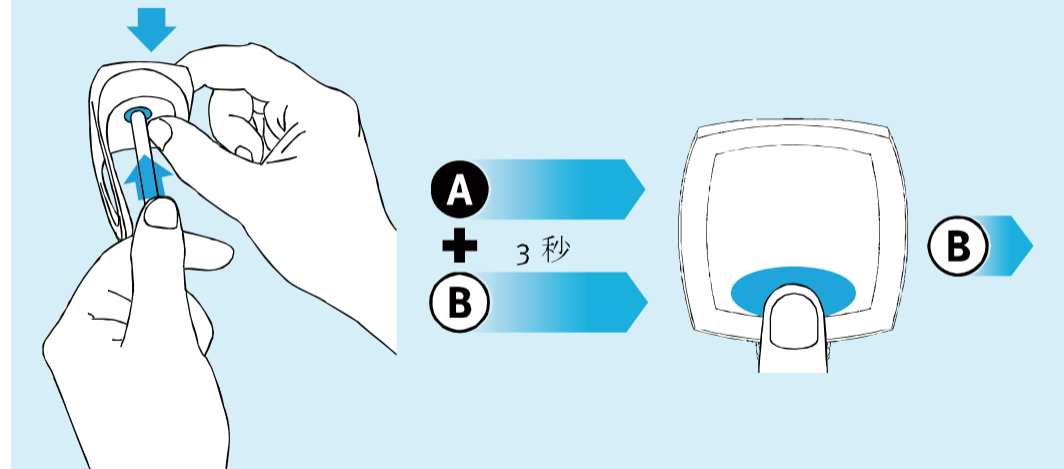
### コンピューターの初期化 (図1.2)

1. 購入時にすでにバッテリーは挿入されています。ⒶとⒷを同時に3秒間押すとすべてのデータを消去し初期化されます。

⚠ コンピューターの初期化は、初めて使用する際、工場出荷時のエラーを防ぐのに重要です。

2. 初期化後、液晶ディスプレイにテスト画面が自動表示されます。
3. Ⓐを押すと、テスト画面が終了し、KM/Hが点滅し始めます。

図 1.2 コンピューターの初期化



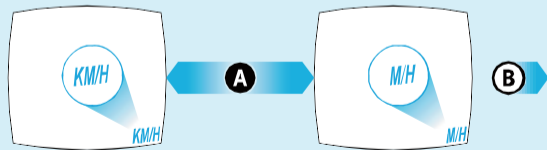
# メインユニットのセットアップ (内容)

## スピード表示設定 (図 1.3)

**A**を押すとKM/HかM/H (キロかマイル) 表示が選べます。

**B**を押すと選んだ方を設定できます

図 1.3 スピード表示設定



## ホイール周長の測定 (図1.4a)

ホイールを回して、バルブがホイールの一番地面に近く低い位置までくるようにし、その位置に印をつけます。

ホイールが完全に一周してバルブがもう一度、地面の位置にくるまで自転車を押します。その位置にもう一つ印をつけます。その印間の距離をホイールの外周として使用します。

この測定は、自転車に乗る際正確なデータを記録するために重要です。

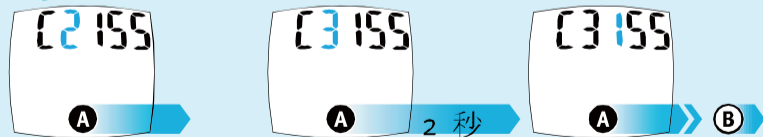
図 1.4a ホイール周長の測定



### ホイール周長データの設定 (図1.4b)

1. 液晶の初期表示は **c2 155** となっていますが、これは 2155mm を示します。28ページの方法で測定した周長を入力します。

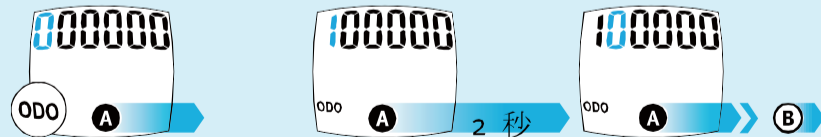
(図1.4b)



### 総走行距離の設定 (図1.5)

1. バッテリー交換後、バッテリー交換前までの総走行距離を入力できます。新しく使用される場合は、この設定は必要ありません。Ⓑを押して次の設定画面に進んでください。
2. 「データ設定方法」に従って数字を入力して下さい。(図1.1)

図1.5 総走行距離の設定

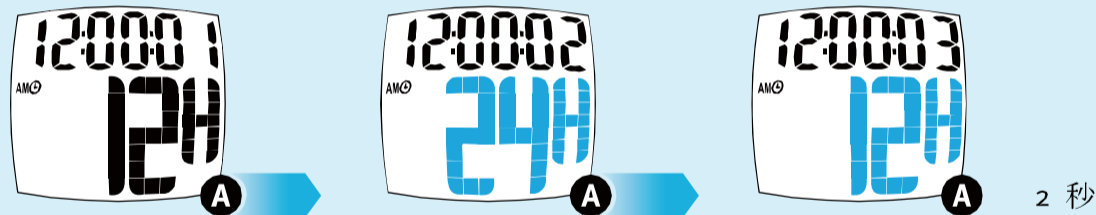


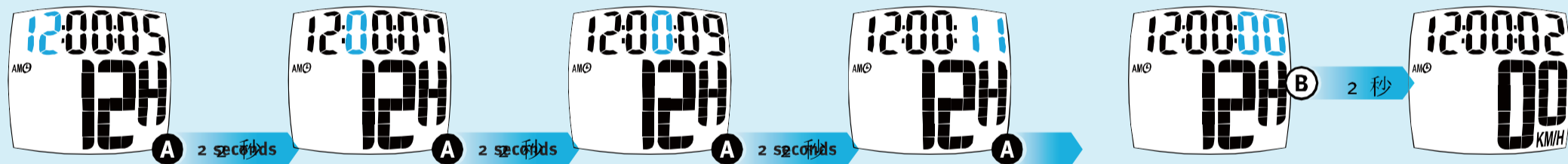
# メインユニットのセットアップ (内容)

## 時計の設定 (図 1.6)

1. 時計の設定時には、の印が表示されます。
2. 12時間AM/PM表示か、24時間表示が選べます。  
A を押しながらいずれかを選択します。  
A を2秒間押すと、時間の設定画面に移ります。
3. 「データ設定方法」に従って時計を設定して下さい。  
(図1.1)
4. 設定が完了したらBを押して内容を保存します。

図1.6 時計の設定





## 現在スピード

0.0–199.9 KM/H または 0.0–120.0 Mile/H

乗車時、現在スピードがメイン画面に表示されます。コンピューターは199.9KM/Hか120.0M/Hまで記録します。（24インチかそれ以上のホイールに適しています。）バイクの動きが止まると、これ以上信号がこないかどうか確認するため、スピード測定は4秒間継続します。

## :12H AM/PM 24H

1:00:00–12:59:59 (AM/PM) 0:00:00–23:59:59 (24H)

12時間表示か24時間表示で時計が表示されます。

## TRIP DIST:走行距離

0.00–999.99 KM または Mile

最後のリセット操作から走行した距離を表示します。

**TIMED TRIP:乗車時間**

0:00:00 (H:MM:SS) – 99:59:59(HH:MM:SS)

最後のリセット操作から乗車したトータルの時間を表示します。

測定は、乗車を初めると自動的にスタートし、停車時にこれ以上信号がこないことを確認するため、4秒間測定し続けます。

この追加の4秒間は自動的に差し引かれます。

**ODO:総走行距離**

0–999999 (KM または Mile)

コンピューターを使用し初めての総走行距離を表示します。ODOはリセット操作では、クリアされません。

**LOW** :ローバッテリーインジケーター

バッテリー残量が2.4Vを下回ると **LOW** が表示されます。

**▲** すべての機能は約**1.2**秒ごとに更新されていきます。

# ボタン機能と、通常操作

## モードボタン (図2.1)

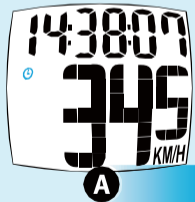
Ⓐを押すと、次のモードに切り替わります。

## セットボタン

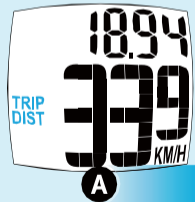
Ⓑを押すと、周長や時間の設定画面に入ります。

(図2.1) それぞれの機能の切り替わりについて

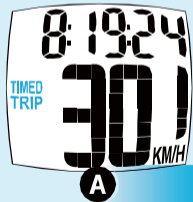
時計



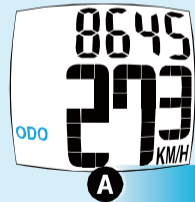
走行距離



走行時間



総走行距離



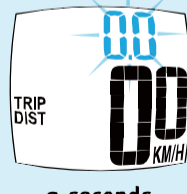
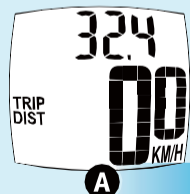
時計の表示  
に戻ります

## リセット操作 (図2.2)

1. 画面に表示される数字がクリアされるまで、**A**を3秒間押します。  
コンピューターは走行距離と走行時間を**00**にリセットします。

**▲** この操作では、総走行距離はリセットされません。

(図2.2)



走行時間と走行距離の  
リセット

## オードパワーオフ、スタンバイモード

バッテリーの消費を抑えるため、コンピューターは15分経つと自動的に電源がオフになります。スタンバイモードでは、時間表示のみとなります。**A**ボタンを一回押すと、スタンバイモードから通常モードに戻ります。

## オートスタート/ストップ

コンピューターは乗車時に自動的にデータを計測し始め、停車時にデータ計測を終了します。

**▲** オートスタートは、スタンバイモードからは実行されません。

# ボタン機能と、通常操作（内容）

## 周長の再設定

1. **A** を押して、総走行距離の表示にします。
2. **B** を押して、周長設定画面に入ります。
3. データ設定方法に従って任意のデータを入力します。  
(図1.1)
4. **B** を2秒間押して、データを保存します。

## 時計の再設定

1. **A** を押して、時計表示にします。
2. **B** を押して時計の設定画面に入ります。
3. データ設定方法に従って任意のデータを入力します。  
(図1.1)
4. **B** を2秒間押して、データを保存します。

# バイクへの取り付け

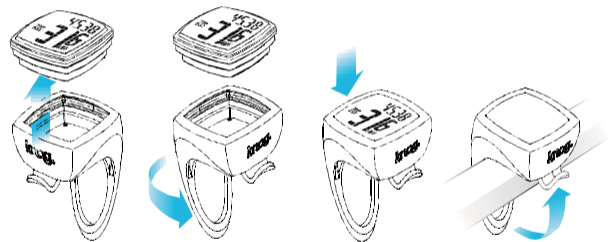
## メインユニット (図3.1)

メインコンピューターユニットは中身を取り外して、向きを変えると、ハンドルバーまたは、ステムにマウントできるよう設計されています。

シリコンストラップは非常に簡単ですばやくバイクに取り付けできます。

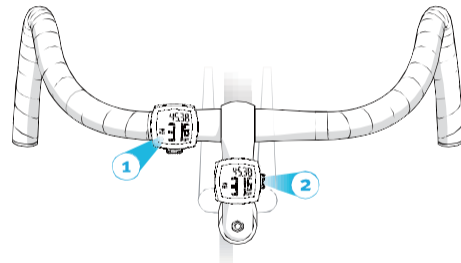
1. トランスミッターとメインユニットの間に障害物ができないだけないようにハンドルバー (1)、またはステム (2) 上で位置を決めます。 (図3.2)
2. シリコンストラップを引っ張り巻きつけ、フックに引っかければ完了です。

図3.1



▲ メインユニットのシリコンストラップは22mmから38mmの径まで対応するように設計されています。

図3.2



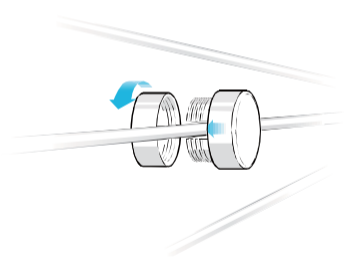
▲ N.E.R.Dのワイヤレス信号を最適に受信するためには、フロントライトとは5cm離して使用するようになしてください。

# バイクへの取り付け（内容）

## スポークマグネット

1. マグネットのネジをとり半分にして、フロントホイールのスポークを挟みこむようにしてとりつけます。（**図3.3**）
2. マグネットがスポーク上で動かないために、マイナスドライバーを使用して、しっかり取りつけます。

図3.3

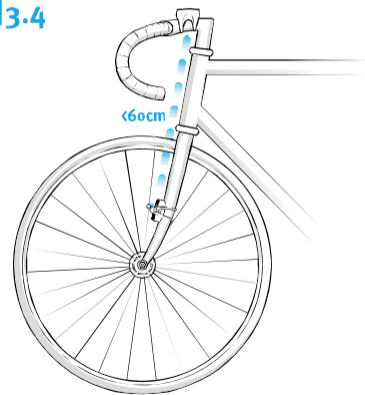


## トランスミッターユニット（**図3.4**）

ワイヤレストランスミッターユニットはフロントフォークに簡単にすばやく取り付け、取り外しできるよう設計されています。

1. トランスミッターとメインユニットの間に障害物ができないようにフォーク上の位置を決めます。

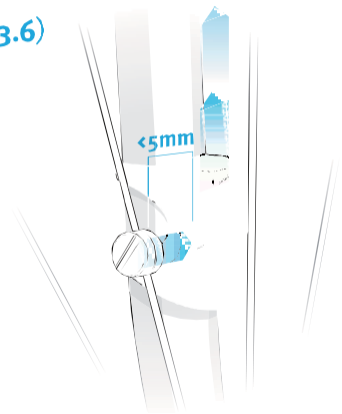
図3.4



2. マグネットに近い位置でSENSORと書いてある方がホイール側を向くようにしてフォークにしっかりと取りつけます。
3. 矢印のマークが上向きで、メインユニットの方を向けてしっかりと取り付けます。
4. シリコンストラップを引っ張りフォークに巻きつけ、フックに引っかけます。ストラップには2か所引っかけるところがあるので、フォークの径に合わせて最適な方を選んで下さい。
5. 最後にもう一度、マグネットとトランスミッターユニットの位置が最も近くなるよう動かしながら調整をして下さい。  
最適な距離は、5mm以内です。(図3.6)

▲トランスミッターユニットのシリコンストラップは2つのループがありますが、これは、20mmから45mmくらいまでの径に対応するように設計されています。

(図3.6)



# バッテリーの交換

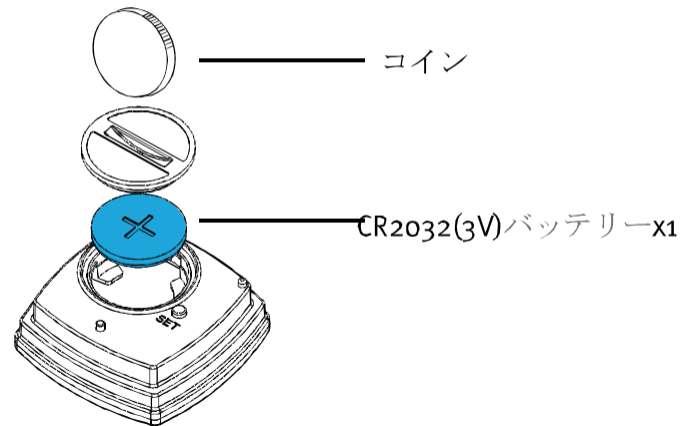
## メインユニットのバッテリーの交換 (図4.1)

1. バッテリー残量が少なくなると **LOW** が表示されます。
2. この表示が出たら、1週間以内に新しいバッテリーに交換してください。
3. バッテリーを交換すると、全てのデータは消去されますが、これまでの**総走行距離**は、バッテリー交換後再入力できます。

古いバッテリーを交換する前に**総走行距離**のデータと、ホイールの周長を必ずメモを取るなどして保管して下さい。

4. CR2032の新しいバッテリーをメインユニットに入れます。

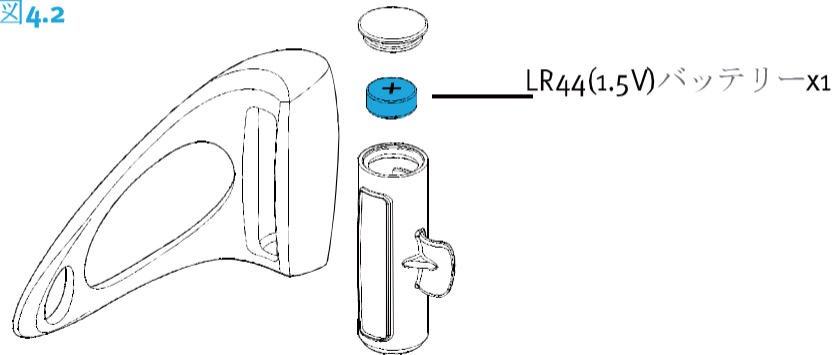
図4.1



### トランスミッターユニットのバッテリー交換 (図4.2)

1. トランスミッターをフォークから取り外します。
2. ユニットの覆うシリコンボディーをめくりします。
3. フタを外し、古いバッテリーを取り出します。
4. 新しいLR44のバッテリーを入れます。+極がフタ側にくるようにします。
5. しっかりとフタをしめます。
6. しわが寄らないようにして、シリコンボディーをユニットにしっかりと覆います。

図4.2



## N.E.R.Dのスペック

トランスミッター付きセンサー	アナログワイヤレストランスミッター付き非接触マグネットセンサー
ワイヤレス感知距離	トランスミッターとメインユニットまで55cm
信号の混線、干渉について	40cmの範囲外であれば、同様のサイクルコンピューターを使用して並走しても混線、干渉はしにくく、使用可能です。
ホイールの周長の設定	1mm-3999mm (1mm毎に設定可)
動作時の気温	0°C – 50°C (32°F – 122°F)

保管時の気温	-10°C – 60°C (14°F – 140°F)	
メインユニットのバッテリー容量	×1 CR2032 3V ▲ メインユニットのバッテリーは平均1日1.5時間使用で約1年間は使用できます。	
トランスミッターユニットのバッテリー容量	×1 LR44 1.5V ▲ トランスミッターのバッテリーは平均1日1.5時間使用で約1年間は使用できます。	
サイズ	メインユニット: 53 × 51 × 40mm	トランスミッターユニット: 52 × 27 × 52mm
重量	メインユニット: 45 grams	トランスミッターユニット: 39 grams

## ケアとメンテナンスについて

1. 乗車しない時には、メインユニットを直射日光に当てるのは避けてください。
2. 月に1度か2度は、マグネットとトランスミッターの位置がずれていないか、しっかりと取り付けられているかを確認してください。
3. ユニットの掃除する時は、湿らせた布で軽く拭き取って下さい。シンナー、アルコールベンジン等はユニットにダメージを与える可能性があるため、使用しないでください。
4. ユニットの見た目がいいことは分かりますが、しっかり道を見るようにしてください！

## 保証について

2年間の製品保証付きです。この保証は、パーツとその製造技術において適用されます。時間経過等による通常使用可での摩耗や劣化においては適用されません。KNOG製品に不具合があった場合は、不具合のあった製品に購入時のレシートを添えて、購入された販売店へお持ち下さい。

All information correct at time of printing.  
Specifications subject to change without notice.

CE0681    